

みずほCustomer Desk Report 2025/09/09号(As of 2025/09/08)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	148.42
TKY 9:00AM	148.32	1.1709	173.77	1.3490	0.6552
SYD-NY High	148.56	1.1765	173.90	1.3556	0.6598
SYD-NY Low	147.35	1.1690	173.08	1.3483	0.6546
NY 5:00 PM	147.55	1.1764	173.43	1.3545	0.6592
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	45,514.95	114.09	日本2年債	0.8200%	▲0.0100%
NASDAQ	21,798.70	98.31	日本10年債	1.5700%	0.0000%
S&P	6,495.15	13.65	米国2年債	3.4874%	▲0.0208%
日経平均	43,643.81	625.06	米国5年債	3.5601%	▲0.0199%
TOPIX	3,138.20	32.89	米国10年債	4.0389%	▲0.0354%
ソコ日経先物	43,475.00	610.00	独10年債	2.6386%	▲0.0196%
ロンドンFT	9,221.44	13.23	英10年債	4.6020%	▲0.0455%
DAX	23,807.13	210.15	豪10年債	4.2880%	▲0.0570%
ハンセン指数	25,633.91	215.93	USDJPY 1M Vol	9.84%	0.04%
上海総合	3,826.84	14.33	USDJPY 3M Vol	9.72%	▲0.08%
NY金	3,677.40	24.10	USDJPY 6M Vol	9.67%	▲0.02%
WTI	62.26	0.39	USDJPY 1M 25RR	▲0.84%	Yen Call Over
CRB指数	299.40	1.63	EURJPY 3M Vol	8.08%	▲0.07%
ドルインデックス	97.45	▲0.31	EURJPY 6M Vol	8.46%	▲0.00%

【昨日の指標等】

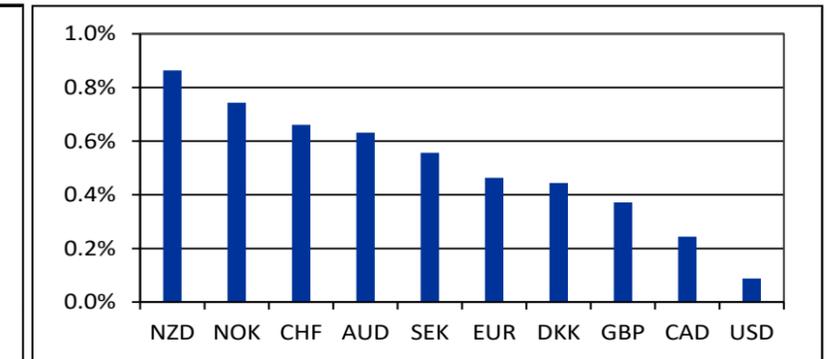
Date	Time	Event	結果	予想
9月8日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	2Q 0.5%	0.3%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	2Q 2.2%	1.0%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・確報	2Q 3.0%	3.0%
	12:00	中 輸出(前年比)	8月 4.4%	5.5%
	12:00	中 輸入(前年比)	8月 1.3%	3.4%
	12:00	中 貿易収支	8月 \$102.33b	\$99.45b
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	7月 0.013	0.0
9月9日	00:00	米 NY連銀1年インフレ期待	8月 3.2%	-

Date	Time	Event	予想	前回
9月9日	09:30	豪 ウェストパック消費者信頼感指数	9月 -	98.5
	10:30	豪 NAB企業信頼感	8月 -	7
	10:30	豪 NAB企業景況感	8月 -	5
	15:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 -1.4%/0.7%	3.8%/2.0%
	15:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	7月 -1.2%/ー	3.5%/2.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.00-147.80	1.1700-1.1800	172.80-174.00

【マーケット・インプレッション】

昨日アジア時間は石破首相辞意を受けて148円台で推移も、ロンドン時間に入るとギャップオープン埋め形で147円台中盤まで下落。米国時間に米8月NY連銀1年先インフレ期待が前回は上回る結果も、米金利は全体的に低下となり、ドル円の上値を押さえ147.55円水準でクローズ。本日は海外時間に雇用関連指標として、米国労働統計局による年次ベンチマーク改定の速報値が発表される、基準改定による修正の幅に注意が必要。雇用とインフレ指標を踏まえた米国利下げに対する思惑主導のマーケットであるが、ドル軟調地合い継続を予想したい。

東京	東京時間のドル円は週末の石破首相の辞意表明を受けた政局不安から、値を切り上げた148.32レベルでオープン。もともと、円売りの勢いは続かず、仲値にかけては小幅に反落。その後も148円前半での小動きとなり、結局148.06レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	欧州時間のドル円は148.06レベルでオープン。ドル売りが進み一時147.48まで下落したが、売りが一巡すると147.77レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は午前中に発表された米8月NY連銀1年先のインフレ期待が前回は上回るも、特段のドル買いには繋がらず。その後は米金利の低下が重しとなり、147.60付近を挟んだ上値重い推移が続く。午後はドル売りの流れが強まり、終盤にかけては147.35まで値を下げる。その後は下げ渋り、147.55レベルでクローズ。一方、ユーロドルはフランスの政局の先行きが懸念される中、米金利の低下に伴ったドル売りが支えとなり、1.1750付近まで上伸。午後ドル売りの流れが続き、1.1765まで上値を伸ばし、その後1.1764レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。